



ロータリー
変化をもたらす

帯広西ロータリークラブ 第2199回例会 2017.10.12 会報



■RI第2500地区テーマ■

今こそ行動を！
ークラブが元気になるために
地区が元気であるために
そして 私たちの未来のためにー



■クラブ・テーマ■

積極的に奉仕し、成長しよう

ゲスト紹介

児童養護施設十勝学園
園長 餌取 史泰 様

石原英樹 会長

会長挨拶

皆さんこんにちは。前回の例会は出張の為欠席させて頂きました。佐々木副会長には、会長報告をして頂きまして10分ほどお話をさせて頂きましたが、中々良い会長報告だったという事で、今後も期待できるかなと、あと数回やって頂こうと思います。

石原英樹 会長



地区大会では多くのメンバーの登録、そして網走という遠方までおい頂きありがとうございます。私が会長ですので参加人数を心配したのですが、皆様のご協力のお陰で例年通り参加頂きありがとうございます。第一日目の指導者育成セミナーは、私と萱場幹事が出席、その後RI会長代理・会長幹事懇親会、そしてRI会長ご夫妻との晚餐会に参加しました。二日目、午前の部で式典、その後クラブ紹介で「やー」とやるわけですが、今回は紹介が逆から始まり第6分区分は早めに終わり、ポツポツと皆さん居なくなりましたが、その後午後の部で酒井田祐右衛門さんの記念公演を聞き、地区の委員長報告があり、ガバナーエレクト・ノミニーの紹介、次期地区大会の帯広北クラブの挨拶、最後にRI会長代理の所感で終了しました。午後からはほぼ私と幹事の二人で、大変寂しい思いをしました。私も今までは早めに帰りましたが、今後はもう一工夫あればと思いました。

大会の登録人数は、地区内2,282名の会員のうち46.8%の1,068人でした。メンバー、地区外の関係者を含め1,145名の参加でした。地区外の登録者数が多く、ガバナー本人は欠席ですが、奥様が参加され成瀬ガバナーの人脈のすごさを感じました。

会長ノミニーの時期になって来ておりますので、会長指名委員会を立ち上げます。委員長に齊藤会員、副に大友会員、委員に古田会員、川田会員、鈴木会員の五名の方々をメンバーとし、近日中に開催致します。

会務報告

- ①帯広南RC、移動例会開催のご案内
日時 10月16日(月)午前11時
場所 JA帯広かわにし青果部販売課(別府事業所)
- ②帯広東RC、移動例会開催のご案内
日時 10月17日(火)午前10時30分
場所 明治乳業十勝工場
- ③帯広北RC、移動例会開催のご案内
日時 10月20日(金)午後0時
場所 北の杜(帯広の森内)
- ④帯広南RC、10月23日(月)の例会は、休会と致します。
- ⑤帯広東RC、夜間移動例会開催のご案内
日時 10月24日(火)午後6時30分
場所 幕別パークホテル悠湯館
- ⑥帯広西RC、夜間例会開催のご案内
日時 10月26日(木)午後6時30分
場所 北海道ホテル
- ⑦帯広東RC、10月31日(火)の例会は、休会と致します。

萱場誠一 幹事



出席報告

7月度3回 85.6%
8月度4回 91.4%
9月度4回 74.2%

松見喜明 副委員長

9月が少し落ちているので、メイキャップ等をして頂けたらと思います。



ニコニコ献金

石原 英樹 会長
地区大会多くの参加ありがとうございます。
佐々木 和彦 委員長
本日担当例会です。宜しくお願いします。
松原 宏樹 会員
ゴルフ同好会最終例会で真中賞を頂きました。

西藤博行 委員長



ニコニコ 10月12日 6,000円
献金 累計 255,015円 (10月12日現在)



会長 石原 英樹 副会長 佐々木嘉晃 会場監督理事 立崎 貴之 発行：広報委員会
幹事 萱場 誠一 副会長 小谷 典之 プログラム委員会理事 北川 勝啓 委員長 柳沢 一元 (副)河西 智子



例会日/木曜日 12時30分~13時30分 例会場/北海道ホテル 帯広市西7条南19丁目1 (TEL 21-0001)
創立/1972年2月24日 事務局/帯広経済センタービル4階 TEL 25-7347 (直通) FAX 28-6033

◆プログラム

社会奉仕委員会 佐々木和彦 委員長

本年度、石原会長は『積極的に奉仕し、成長しよう』をクラブテーマに掲げ、奉仕活動の推進を図って行くことを明確にしました。それを受け私たち社会奉仕委員会は、今までの活動の他に、地域の福祉団体に対し、新たな切り口で活動を行うための、調査研究を行うことにしました。本日その第一弾として、進学したくても、それがなかなか、叶わない。



そんな現状を本日のゲスト児童養護施設十勝学園 園長 餌取史泰 様に「子供たちに明日の夢を」のテーマでお話いただき、皆さんとともに考えて行きたいと思います。それでは、餌取史泰様の略歴をご紹介します。

昭和40年8月11日生まれ

池田町出身、国士舘大学をご卒業後、(株)富士通BSCに入社され

平成3年4月、ふるさとである、池田町に戻られ、特別養護老人ホーム池田光寿園勤務。

平成14年7月、系列の児童養護施設十勝学園に事務員として異動、そして

平成26年6月から、十勝学園園長として勤務されています。

「子供たちに明日の夢を」

児童養護施設十勝学園 園長 餌取 史泰 様



本日はお招きありがとうございます。お話の前に皆様にお礼を申し上げたい。国際ロータリー第2005地区より学園所属の子が奨学金を頂いております。

児童養護施設十勝学園の現状と今後についてお話しさせていただきます。法人は池田に本部があり、池田で介護事業、池田・帯広・札幌で保育園、帯広で学童保育、児童養護施設、家庭支援センターを開設しております。児童養護施設に関しては、帯広に1か所しかありません。児童養護施設とは、乳児を除いて保護者が居ない、虐待されている等の子を養育し、自立を支援するという施設です。3~19歳の子たちが居ます。現在全国で約604施設、人数は小規模化して家庭に近い環境で育てようという事で減少しています。全道では23施設、約1300人の子が生活しています。児童相談所からの措置という形での入所になります。十勝学園は平成14年若草学園と帯広平原学園が統合しスタートしています。当時定員は80名でした。十勝子供支援センターを併設し、電話相談・子育てについての悩みを24時間体制で受け付けております。平成17年地域小規模養護施設を定員6名で民家を買って一般の地域で生活しております。これからの養護は施設よりも家庭的な里親へシフトしていくような流れです。入所理由で一番多いのは虐待、続いて受刑、知的障害等です。十勝学園の入所者は皆保護者が居るので親との再統合を目指しています。

皆様に最後にお願ひがあります。20歳までの措置延長が認められ、本来の意味での自立支援が出来るようになり、進学するという選択肢も出来ますが、高卒より上を目指すとは経費が出ないのが現状です。もう一歩踏み込んだ支援を皆様にお願ひ致します。



地区大会

